

NYマーケットレポート (2016年5月9日)

NY市場では、日本や欧米の株価上昇を好感して、投資家のリスク志向の動きが続いており、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。また、米金融当局が、引き続き年内利上げの方針を維持しているとの観測から、ドルは対資源国通貨を中心に堅調な動きとなった。その後、原油価格の下落が続いたことや、株価が下落に転じたこともあり、ドル円・クロス円は終盤まで上値の重い動きが続いた。

2016年5月9日(月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	107.67	107.71	107.17
EUR/JPY	122.65	122.86	122.14
GBP/JPY	154.90	155.38	154.45
AUD/JPY	79.00	79.35	78.85
EUR/USD	1.1394	1.1417	1.1380

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	108.38	107.52
EUR/JPY	123.38	122.48
GBP/JPY	156.43	154.71
AUD/JPY	79.52	78.95
EUR/USD	1.1408	1.1375

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16216.03	+109.31
ハンセン指数	20156.81	+46.94
上海総合	2832.11	-81.14
韓国総合指数	1967.81	-8.90
豪ASX200	5320.70	+28.65
インドSENSEX指数	25688.86	+460.36
シンガポールST指数	2766.06	+35.26

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6114.81	-10.89
仏CAC40	4322.81	+21.57
独DAX	9980.49	+110.54
ST欧州600	333.22	+1.55
西IBX35指数	8660.80	-41.30
伊FTSE MIB指数	17685.80	-157.00
南ア 全株指数	51348.72	-68.66

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.36	108.61	108.18
EUR/JPY	123.34	123.71	123.23
GBP/JPY	156.17	156.44	155.97
AUD/JPY	79.29	79.50	79.20
NZD/JPY	73.40	73.71	73.24
EUR/USD	1.1383	1.1415	1.1379
AUD/USD	0.7317	0.7335	0.7308

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17705.91	-34.72
S&P500	2058.69	+1.55
NASDAQ	4750.21	+14.06
日経225 (CME)	16275	+195
トロント総合	13563.84	-137.63
ボルサ指数	45250.34	+40.49
ボベスパ指数	50990.07	-727.76

5/10 経済指標スケジュール

08:01	【英国】4月BRC小売売上高
10:30	【中国】4月消費者物価指数
10:30	【中国】4月生産者物価指数
14:45	【スイス】4月失業率
15:00	【ドイツ】3月鉱工業生産
15:00	【ドイツ】3月経常収支
15:00	【ドイツ】3月貿易収支
15:30	【フランス】4月企業センチメント指数
15:45	【フランス】3月製造業生産指数
15:45	【フランス】3月鉱工業生産
16:00	【トルコ】3月経常収支
16:00	【ノルウェー】3月鉱工業生産
17:30	【英国】3月商品貿易収支
19:00	【米国】4月NFIB中小企業楽観指数
23:00	【米国】3月卸売在庫
23:00	【米国】3月卸売売上高
23:00	【米国】3月JOLT労働調査[求人件数]
23:00	【メキシコ】5月外貨準備高(週次)

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1266.60	-27.40
NY 原油	43.44	-1.22
CMEコーン	369.00	-8.50
CBOT 大豆	1026.50	-8.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.71%	0.73%
3年債	0.85%	0.89%
5年債	1.19%	1.23%
7年債	1.50%	1.54%
10年債	1.75%	1.78%
30年債	2.61%	2.62%

5/10 主要会議・講演・その他予定

・米3年債入札

NY 市場レポート

21 : 00

ドル/円 108.33 ユーロ/円 123.28 ユーロ/ドル 1.1382

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6149.88	+24.18	ダウ 先物ミニ	17712	+41
仏 CAC40	4356.77	+55.53	S&P 500 ミニ	2057.50	+4.75
独 DAX	10054.33	+184.38	NASDAQ 100 ミニ	4340.50	+12.25

出所 : SBILM

21 : 13

◀ 経済指標の結果 ▶

4月カナダ住宅着工件数 19.15 万件（予想 19.30 万件・前回 20.24 万件）
 前回発表の 20.43 万件から 20.24 万件に修正



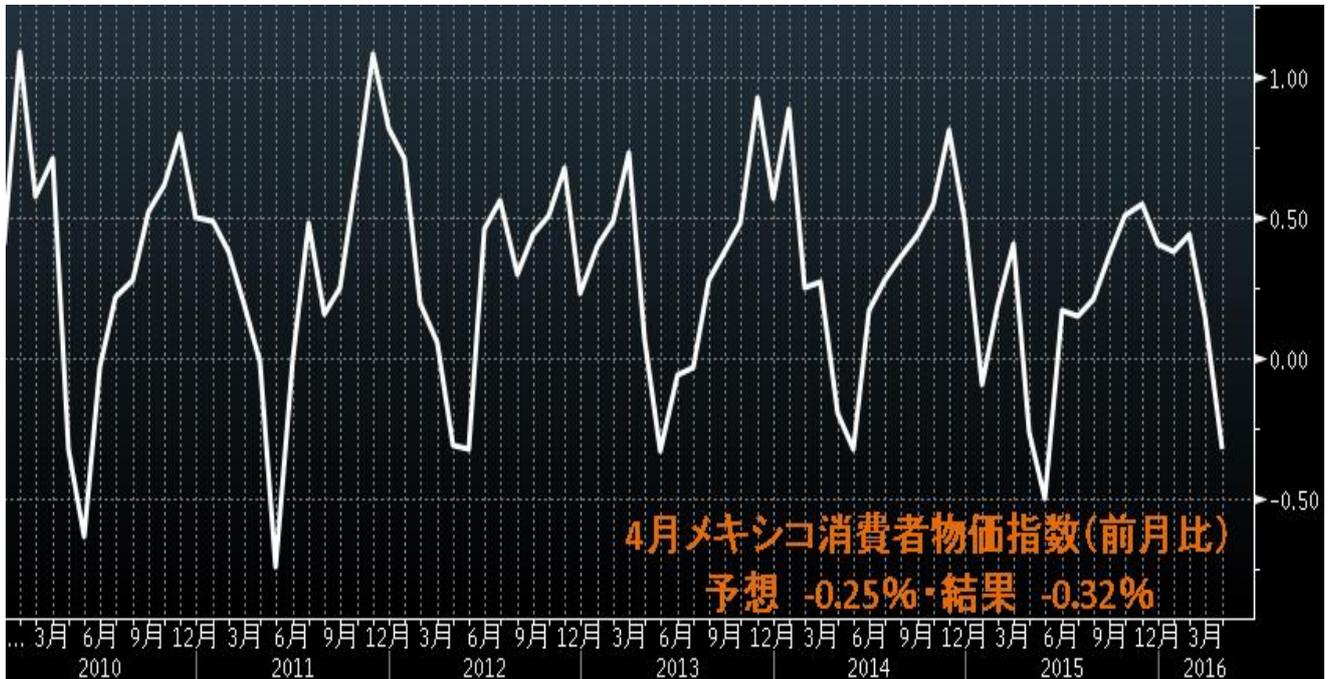
出所 : Bloomberg

22 : 00

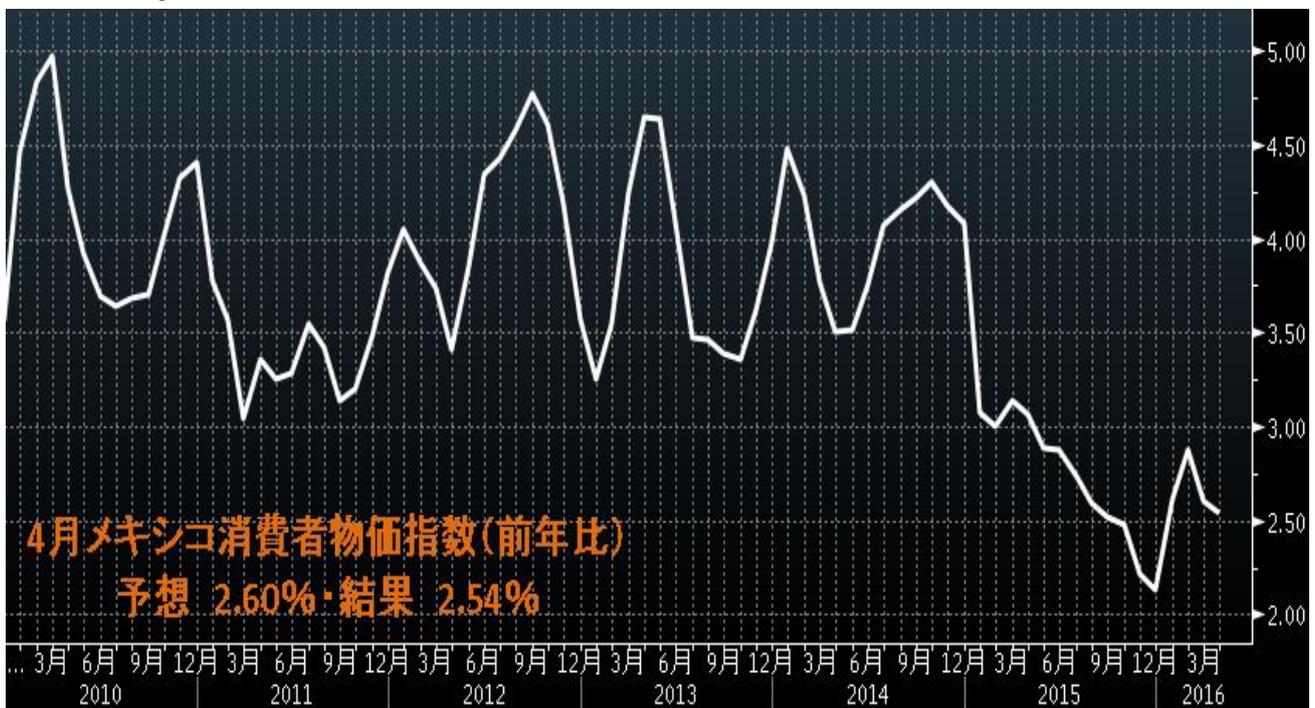
◀ 経済指標の結果 ▶

4月メキシコ消費者物価指数（前月比） -0.32%（予想 -0.25%・前回 0.15%）

4月メキシコ消費者物価指数（前年比） 2.54%（予想 2.60%・前回 2.60%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17728.92	-11.71
ナスダック	4738.21	+2.06

出所 : SBILM

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月米労働市場情勢指数 -0.9 (予想 -1.0・前回 -2.1)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ 労働市場情勢指数 (LMCI) ▶

4月・3月・2月・1月・12月・11月・10月

労働市場情勢指数・・・-0.9・・・-2.1・・・-2.6・・・-1.8・・・1.4・・・2.3・・・2.6

23 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、日本や欧州の株式相場が堅調に推移していることを好感した買いが入る一方で、軟調な原油相場を嫌気した売りも出ており、主要株価は序盤からもみ合いの展開が続いた。

◀ 経済指標のポイント ▶

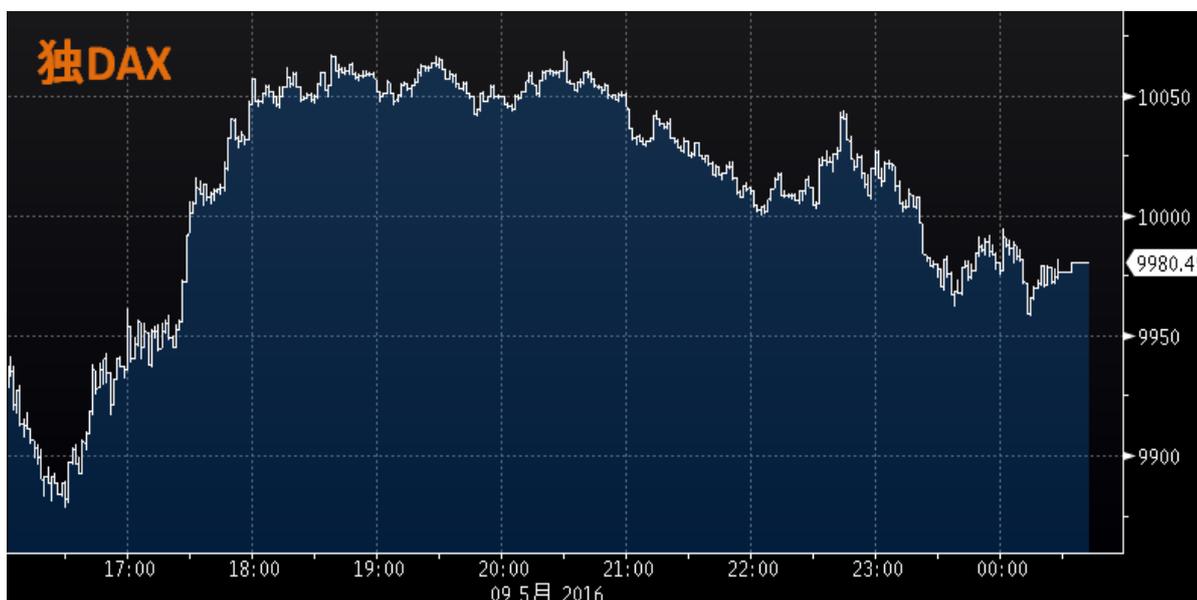
- (1) FRB が発表した 4 月の労働市場情勢指数 (LMCI) は、-0.9 ポイントとなり、市場予想の-1.0 を上回る結果となったものの、雇用の改善・悪化の境目になるゼロを 4 ヶ月連続で下回った。3 月は-2.1 ポイントだった。当該指数は 19 の労働市場関連統計を基に算出される。失業率と民間部門の雇用者数の比率が高く、このほか求人・労働移動統計、賃金が含まれる。労働省による毎月の雇用統計発表後の最初の営業日に公表される。
- (2) コンファレンスボード (全米産業審議会) が発表した 4 月の雇用トレンド指数は、128.28 と前月比+1.47%となった。また、前年同月比は+1.4%だった。3 月の指数は当初発表の 127.48 から 126.42 に下方修正された。コンファレンスボードの北米チーフエコノミストは、4 月の雇用トレンド指数は改善したが、伸びはここ数カ月間鈍化しており、雇用の回復ペースが今後遅くなることを示唆していると指摘。また、経済成長が緩やかにとどまり利益も減少する中、雇用主は一段と慎重になっている。今後、就業者数の伸びは月+20 万人を下回り続けると予想すると述べた。雇用トレンド指数は、コンファレンスボードの消費者信頼感指数の就労関連指数や、週間失業保険給付申請件数など、雇用に関する 8 つの指数を基に算出する。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6114.81	-10.89
仏 CAC40	4322.81	+21.57
独 DAX	9980.49	+110.54
ストック欧州 600 指数	333.22	+1.55
ユーロファースト 300 指数	1309.10	+5.80
スペイン IBEX35 指数	8660.80	-41.30
イタリア FTSE MIB 指数	17685.80	-157.00
南ア アフリカ全株指数	51348.72	-68.66

出所：SBILM

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。序盤は堅調な動きとなったものの、中盤以降は下げ幅を縮小する動きとなった。FT100 は、鉱業株が売られたことが影響し、マイナス圏で引けた。



出所：Bloomberg

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17697.83 (-42.80)、S&P500 2058.87 (+1.73) ナスダック 4753.26 (+17.10)

◀ NY 債券市場・午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、原油価格や米国株の値下がりや安全資産としての需要が高まり、買いが先行した。前週末に発表された米雇用統計が低調だったことで米国の6月利上げに対する警戒感が後退したことも、支援要因となった。ただ、米国債入札を前に積極的な買いを手控えるムードも強く、上げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30年債が2.62%（前週末2.63%）、10年債が1.76%（1.78%）、7年債が1.51%（1.54%）、5年債が1.20%（1.23%）、3年債が0.85%（0.88%）、2年債が0.71%（0.73%）。

◀ 欧州のポイント ▶

①コンスタンシオ ECB 副総裁は、最近 ECB が講じた景気刺激策がユーロ圏のインフレを押し上げるにはしばらく時間がかかる、との認識を示した。この発言は、ECB が近い将来、追加措置を講じる可能性が低いことを示唆している。副総裁は、ECB は約2%のインフレ率目標を達成するために必要な措置は何でも講じると繰り返し一方で、3月の景気刺激策が経済に影響を与えるにはしばらく時間がかかると語った。

②英紙タイムズは、英民間放送大手 ITV からの依頼で英世論調査会社 YouGov が行った調査で、英国の EU 残留を支持する人の割合が42%となり、離脱支持派の割合が40%となったと報じた。調査によると、13%はどうか投票するかわからない、6%は決めかねているとした。

③オズボーン英財務相は、EU から離脱すれば、住宅価格が下落し、モーゲージコストも上がることが予想され、住宅所有者は「大きな打撃」を被ると強調した。同相は「国のアイデンティティーの問題だけではなく、国民の家計を直撃する問題」と指摘。「住宅価格やモーゲージコストという点で、大きな打撃を被ることになることは明らか。これは、英国が EU から離脱した場合の経済的な影響の一例だ」と語った。一方、EU 離脱を訴えるキャンペーンの急先鋒であるゴープ司法相は、英国は EU から離脱すべきとの持論をあらためて展開。ただし、単一市場へのアクセスは維持すべきだと述べた。

④ドゥダ・ポーランド大統領は、次期中銀総裁に経済学者で2月まで中銀金融政策委員会メンバーだったアダム・グラピンスキ氏（66）を指名した。6月11日に任期を終えるベルカ総裁の後任となる。グラピンスキ氏は与党「法と正義」に近く、指名は大方の予想通りで議会でもあっさり承認される見通し。政策金利は当面、過去最低の1.5%に据え置くべきだという今の中銀の金融政策委員会における主流意見をさらに強化する存在となる可能性も。「法と正義」とドゥダ大統領は最近数カ月で、10人で構成する金融政策委員の大半を任期満了に伴う入れ替えの形で指名してきた。

⑤EU は、ギリシャ金融支援を巡る臨時のユーロ圏財務相会合をブリュッセルで開いた。昨年の財政危機再来を招かぬよう、支援融資実行の条件であるギリシャの財政再建策の審査通過に向け合意を目指す。ギリシャは7月に多額の債務返済期限を迎える。昨年8月に合意した新たな支援枠組みの下で、これまでに一部の融資は受けているが、デフォルトを回避するためにはさらなる融資が必要。EU は新枠組みの下で初となる再建策の審査を2月に開始したが長引いており、危機再燃の不安が高まる恐れもある。ギリシャ議会は再建策を審議し、税制・年金制度改革の法案を可決した。だがギリシャ国民は緊縮策に不満を持っており、法案採決を前に国内各地で抗議デモが行われた。目標通り財政を改善できない見込みとなった場合、EU は追加の財政緊縮策を求めることになるが、その内容に関する合意が焦点となる。

ECB 公的部門購入プログラム

	5月6日	4月29日	4月22日	4月15日	4月8日	4月1日
公的部門	7462.9	7265.2	7089.7	6890.6	6708.4	6520.2
資産担保証券 ABS	189.3	190.4	191.8	192.2	191.8	190.1
カバード債	1740.0	1722.5	1710.1	1692.5	1668.3	1658.4

（億ユーロ）

2:20

◀ 要人発言 ▶

カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁

- ・「状況変われば、よりタカ派的になる可能性も」
- ・「FOMC、現在の政策スタンスは適切」
- ・「生産性の伸びが弱いのは気がかりな兆候」

3:40

NY金は、中心限月が前週末比 27.40 ドル安の 1 オンス=1266.60 ドルで取引を終了した。

4:30

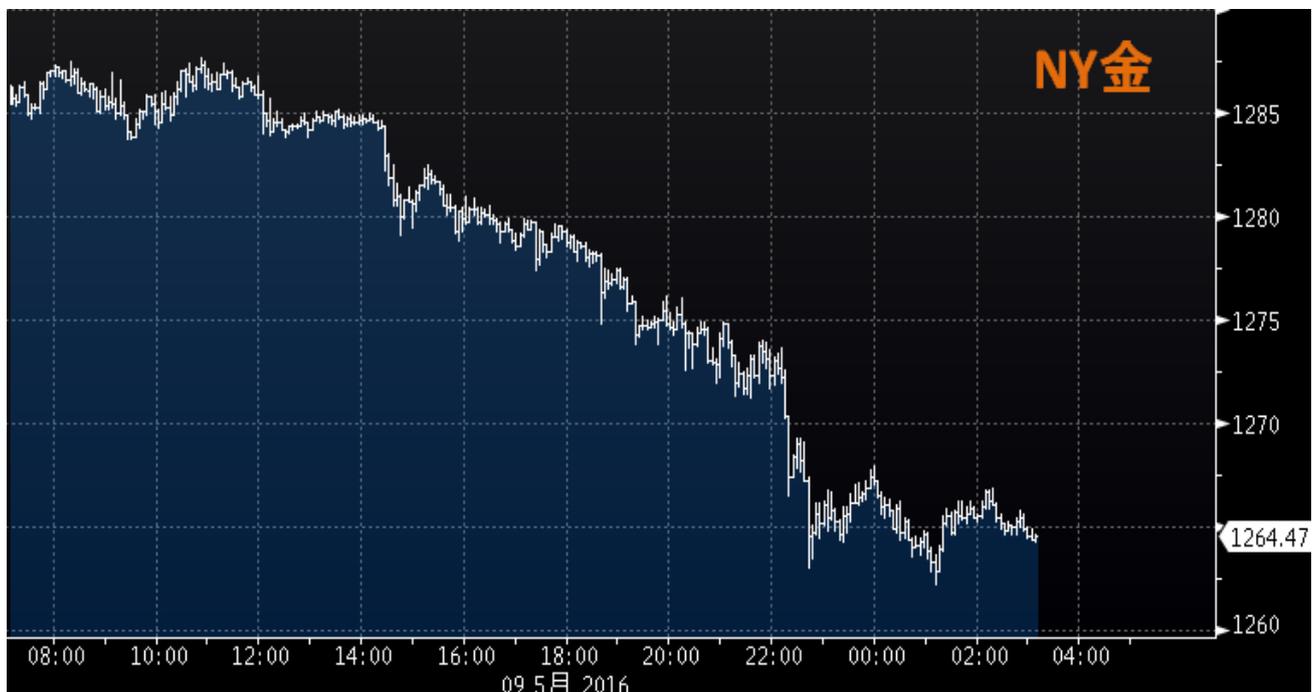
NY原油は、中心限月が前週末比 1.22 ドル安の 1 バレル=43.44 ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1266.60	-27.40
NY 原油	43.44	-1.22

出所：SBILM

◀ NY 金市場 ▶

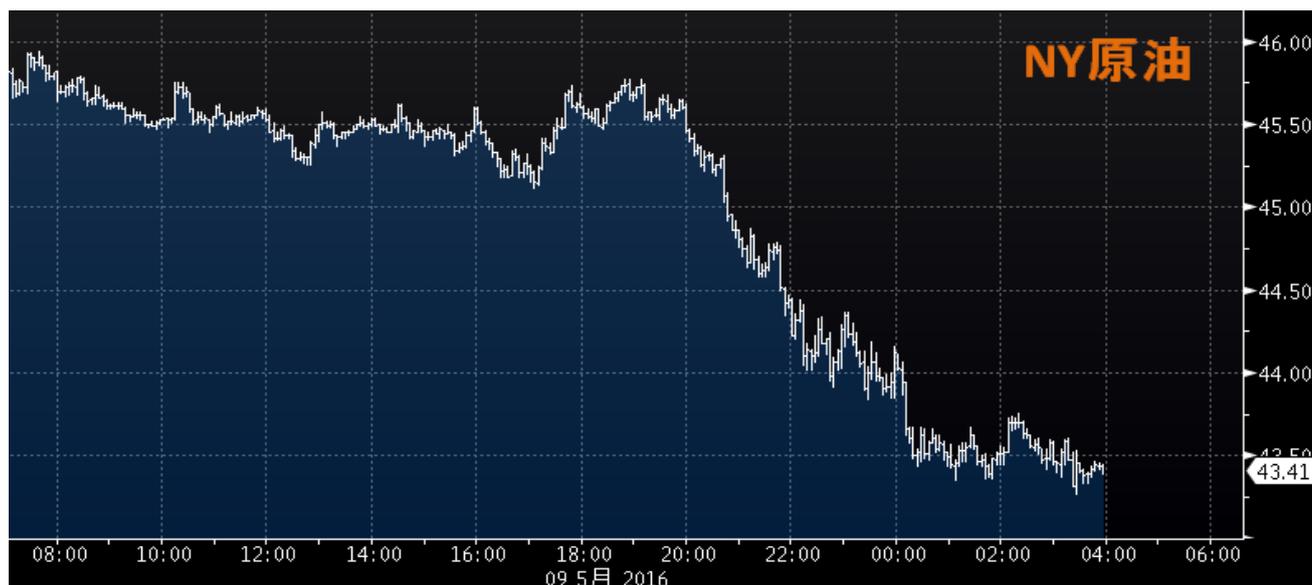
NY金は、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金を売る動きが膨らんだ。前週末の大幅上昇の反動で利益確定売りが広がったことも圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、カナダ西部で発生した山火事の原油生産への影響は限定的との見方から供給懸念が後退し、売りが優勢となった。また、WTI原油の引き渡し地点となる米オクラホマ州クッシングの在庫増加が伝わったことも売り材料となった。



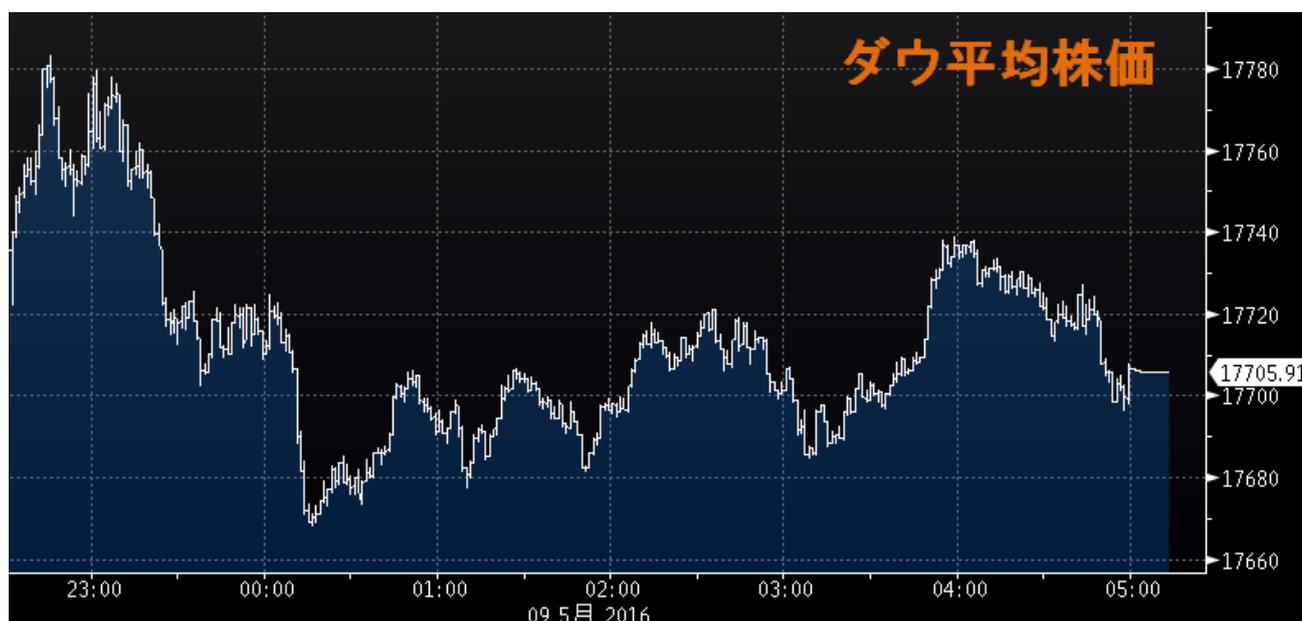
出所：Bloomberg

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17705.59	-34.72	17783.16	17668.38
S&P500種	2058.69	+1.55	2064.15	2054.31
ナスダック	4750.21	+14.06	4771.94	4735.06

出所：SBILM

《米株式市場》

米株式市場は、日本や欧州の株式相場が堅調に推移していることを好感した買いが入る一方で、軟調な原油相場を嫌気した売りも出ており、主要株価は序盤からもみ合いの展開が続いた。その後も新規材料に乏しく、終盤までもみ合いの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤に前週末比 42 ドル高まで上昇したものの、その後 72 ドル安まで下落する動きとなった。そして、終盤までは狭いレンジ内の展開が続いた。



出所：Bloomberg

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.36	108.61	108.18
EUR/JPY	123.34	123.71	123.23
GBP/JPY	156.17	156.44	155.97
AUD/JPY	79.29	79.50	79.20
NZD/JPY	73.40	73.71	73.24
EUR/USD	1.1383	1.1415	1.1379
AUD/USD	0.7317	0.7335	0.7308

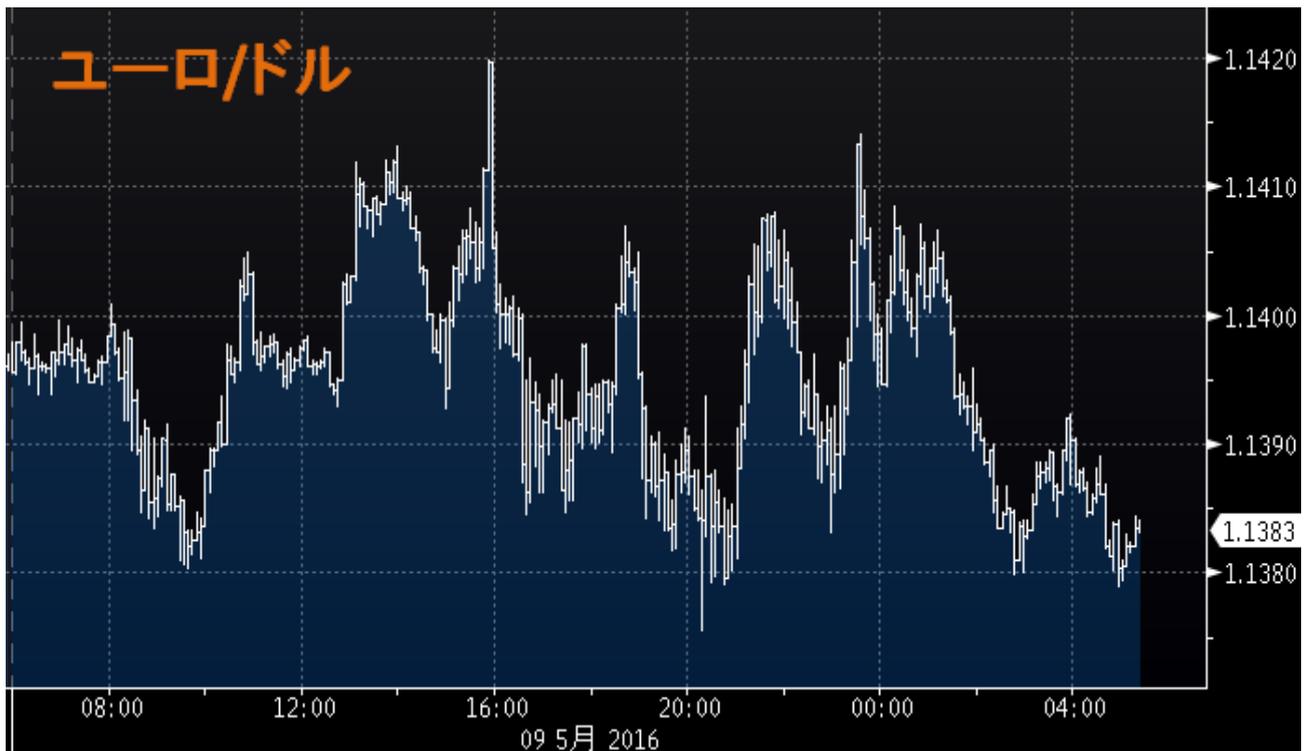
出所：SBILM

《外国為替市場》

外国為替市場は、堅調な株価動向を受けて、ドル円・クロス円は序盤から堅調な動きとなった。しかし、原油価格が下げ幅を拡大する動きとなったことや、米ダウ平均株価がマイナス圏まで下落する動きとなったことからやや失速し、終盤まで上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。